

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム やまぶき

作成日：令和1年12月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		近年の自然災害に対し、避難経路マニュアルは作成しているが、職員全員が周知しているとは言えない。	災害・避難等に対する職員の意識を養い、災害発生時には臨機応変に対応できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な避難経路等の確認 ○最低限の非常時の持ち出し品の把握 ○備蓄品の保管場所の周知徹底 	通年
2		利用者の外出の機会が少ない	利用者の安全や健康状態に配慮しながら外出の機会を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス等の終息状況等をみながら安全に外出できる計画とする ○計画実施前には、責任者及び担当者が実施の有無を協議し決定する 	8 か月
3		歩行運動や音楽体操をしているが、筋力低下が目立つ	筋力低下予防・筋力アップを図る	<ul style="list-style-type: none"> ○個々のADLに合わせ運動メニューを検討する ・階段を上り、EVで階下に降りる ・階段昇降(室内階段を利用) ・テーブルに掴まり足踏み等 	12 か月
4		事故報告はあるが、再発防止の検討会がないため、危機感を持つことや危険予知能力が乏しい	事故や急変時における適切な対応を全職員が周知するとともに、危険予知能力を培う	<ul style="list-style-type: none"> ○検討会・勉強会の開催 ・事故報告やヒヤリハットの検討会の開催 ・緊急時等に対する定期的な勉強会の開催 	12 か月
5		業務のマンネリ化と固定概念があり、臨機応変に業務が出来ない。また、施設や施設回り等への気づきが乏しく無関係さが目立つ	互いの立場を理解し、互いの長所を尊重し、より気持ちよく働ける職場を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ○月1回は、建物周りを歩き、清掃箇所や危険箇所の確認と報告をする ○春・夏・秋は利用者と外気浴をしながら花壇には何の花が咲いているかなど把握したり、環境美化に努めるとともに、利用者との交流を深める 	8 か月